

マテリアリティの特定に関するプロセスについて



現行の中期経営計画の基本戦略に掲げるSDGs/ESG（環境・社会・ガバナンス）に対する取り組みを効果的に進めていくために、次のプロセスでマテリアリティ（重要課題）を特定しました。マテリアリティの選出にあたっては、「ステークホルダーにとっての重要度」と「当社グループにとっての重要度」の二つの観点を踏まえて、社外の専門家のアドバイスも交えながらプロセスを遂行いたしました。

特定プロセス

ステップ1	NSDグループにおける課題のリストアップ	グループ内の各部門・部室、関係会社が対処すべき課題や各ステークホルダー（株主、お客様、社員ほか）の声をアンケートやインタビュー等の方法によりリストアップ。
ステップ2	マテリアリティ案の作成	第三者（外部専門家）のアドバイスを受けつつ、各マテリアリティの優先順位付けを行い、マップの形に整理。
ステップ3	マテリアリティ案の妥当性を検証	サステナビリティ推進委員会を中心に、マテリアリティ各項目の内容や優先度についての妥当性を議論。
ステップ4	マテリアリティの特定	取締役会にて審議の上で最終的に確定。